

# 令和2年度商工施策要望を実施

## 12月3日舞鶴市長に説明 京都府は10日に

### — 稼げる環境の整備促進など —

舞鶴商工会議所では、地域経済の振興や会員企業の儲かる環境づくりの実現に向けた要望について、京都府と舞鶴市の事業・予算に反映してもらうため、「令和2年度商工施策要望書」としてまとめ、12月に手渡しました。

12月3日には舞鶴市役所を訪問。小西会頭をはじめ、安達・今安・一盛副会頭や田中機械金属部会長、坂根建設部会長、竹田情報サービス部会長、瀬川参与、西山専務理事らが、多々見舞鶴市長に対し、各部会の要望・意見内容について説明を行いました。

多々見市長からは「要望の趣旨については、同様の理解をしている。市としては、商工会議所とともに引き続き企業の皆さんが“稼げる環境づくり”に努める」と力強い回答がありました。

また、京都府については、12月10日瀬川参与ら3人



10部会の内容をまとめた要望書を舞鶴市長へ提出  
(12月3日：舞鶴市役所)

が訪問。西山専務理事から綾城中丹広域振興局長に対して、西脇知事あての要望書を託すとともに、10部会の要望項目を詳しく説明し、実現へ向けた検討を要請しました。

要望書の内容は、以下のとおりです。

## 令和2年度 商工施策要望（概要）

次年度予算編成にあたって、私たちの舞鶴を「元気なまち」「夢あるまち」そして「楽しいまち」にするために、以下について要望します。

### 1. 地元企業への優先発注と稼げる環境の整備

商工業者は、市民に最も身近な存在です。舞鶴市内の企業を優先活用することで、域内の所得が増えて経済の活性化に寄与し民生の安定にもつながります。公共工事等の発注については、過度な競争原理で地元企業が排除されることがないように。また、適正な利益が確保出来るよう地元企業への優先発注の推進をお願いします。

現在、「人手不足」が深刻で、中小零細企業は大きな影響を受けています。雇用対策や創業支援、販路拡大などへ重点的な対応をお願いします。

### 2. まちの繁栄と安全安心へのインフラ整備推進

山陰新幹線府北部ルート実現など、必要な公共事業を実施することで、安心して暮らすことができるだけでなく、「交流人口」拡大の可能性が一層

大きく広がります。

引き続き、京都舞鶴港の機能強化・整備促進や、「国道27号西舞鶴道路」、「市街地の総合治水対策」等の早期完成とともに、「舞鶴若狭自動車道の全線4車線化」などの整備促進、JR西舞鶴駅の機能回復などについてもお願いします。

### 3. まち（地域）の価値を上げる施策推進

企業誘致、事業継承の強化などによる定住人口の維持対策も喫緊の課題です。また、本市の特性として、市内の大手事業所が異業種であるとともに、不況に左右されない国の機関・施設が多いことから、比較的景気動向に左右されにくいという都市といわれています。こうした都市基盤やIT、IoT、ロボットなどを活かしながら、新しい産業を創造し舞鶴ならではの“ビジネス環境”を構築しなければなりません。「しごと」を増やし、適正な「利益」を生み出す仕組みづくりによって、まちに活力が漲るよう、更なる支援をお願いします。